

本会の動き

☆女性技術者ネットワーク開催報告☆ (開催日 2025年12月5日)

化学工学会男女共同参画委員会では、女性技術者、研究者、学生がそれぞれの立場を越えて交流し、情報共有とネットワーク形成を図ることを目的として「女性技術者ネットワーク」を継続的に開催しています。本年度2回目は、2025年12月5日（金）18：30より、化学工学会会議室およびオンラインのハイブリッド形式にて開催し、対面、オンラインともに多数の方にご参加いただきました(参加者：対面16名、オンライン18名)。

はじめに、安田女子大学薬学部薬学科助教の布目陽子先生より「出産・育児と研究の両立は可能か？」とのタイトルで、ご自身の研究者としてのキャリアと出産、育児の経験をふまえ、研究と育児の両立における課題と、それを乗り越えるための具体的な工夫についてご講演いただきました。名古屋大学、大阪大学、広島大学でのポスドク、助教時代の研究経験を経て、出産を挟んだキャリア形成のなかで直面した困難や葛藤を率直にお話しいただきました。研究活動が思うように進まない時期には、資格取得などによる気分転換を図ったことや、論文執筆を寝かしつけ後や週末に少しずつ進めるなど、限られた時間を活用する具体的な工夫も紹介いただきました。また、子育てと研究の両立においては、職場の理解や柔軟な勤務制度の存在、家族や周囲の支えが大きな力になったことが強調されました。一方で、ご自身の反省や苦労した経験なども包み隠さずご共有いただいた点が印象的で、研究と育児の両立に悩む参加者にとって大きな励みとなりました。講演の最後には、「完璧を目指さず、続けることそのものが両立である」

「出産は研究生活における大きな転機だが、周囲の力を借りながら無理なく続けていくことが重要」とのメッセージが示され、今後研究を継続していくうえでの心構えとして多くの参加者の心に残るご講演でした。

続いて、千代田化工建設株式会社 技術本部 石油・化学・新エネルギープロセス設計部 安達香奈氏から「女性エンジニアのキャリアパス」とのタイトルでご講演いただきました。海外LNGプラントや国内の脱炭素関連プラントのプロセス設計に携わってきたこれまでの業務内容に加え、男女比率の高い職場環境の中で感じた戸惑いについても率直に語られました。育休復職後には、定時で帰れるよう配慮される一方で、サポート業務が中心となり、エンジニアとして十分な経験が積めていないのではないかという不安や、成長を実感しづらい時期があったことが紹介されました。ワークライフバランスは保たれているものの、キャリア形成との間で葛藤を抱えた経験は、多くの参加者にとって身近な課題として受け止められました。その後、上司との対話や「働き方宣言」を通じて、自身の働きたいという意思を言語化し伝えたことが転機となり、より責任のある業務や専門性の高い業務を任されるようになった経緯が説明されました。専門分野の変更や部署異動を通じて、自身のキャリアを主体的に考え直す過程や、「やりたいこと」「今できること」を整理することの重要性についての気づきもご共有いただきました。また、制度だけでは全てをカバーすることは難しく、ライフイベントに備えたスキルや知識の蓄積、上司や周囲とのコミュニケーションが不可欠であること、他人と比較しすぎず小さな信頼を積み重ねていくことの大切さについてのアドバイスは、世代や立場を超えて多くの参加者にとって示唆に富む内容でした。

講演後の質疑応答では、育児と研究、業務の両立に役立つ制度や、ワンオペ育児をどのように乗り切っているか、スキルや知識の蓄積方法などについて活発な意見交換が行われました。ま



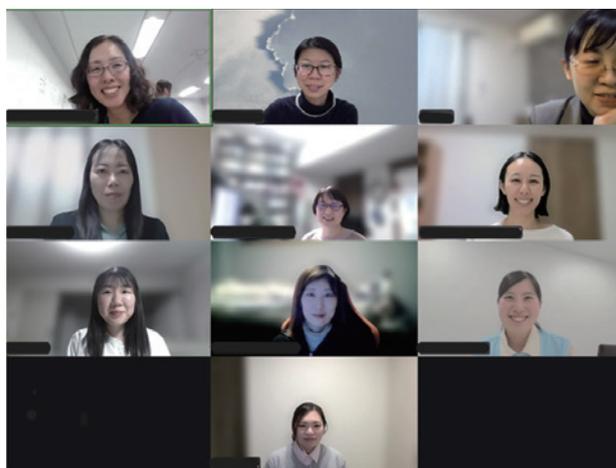
講演者の布目陽子先生



講演者の安達香奈氏



本部事務所での交流会



オンライン交流会の様子

た、講演会後には、対面、オンラインそれぞれで交流会を開催し、育児とキャリアの両立や別居婚での育児と仕事の両立などについて、大学・企業の職種の垣根を超えて活発に情報交換がなされ、どちらも予定の時間を超過するほど大変盛り上がりました。

今回の女性技術者ネットワークでは、研究者、技術者としてのキャリアとライフイベントをどのように両立していくかについて、具体的かつ現実的な視点から多くの示唆が得られました。参加者からは、「同じ悩みをもつ人がいると分かり心強かった」「今後のキャリアを考えるうえで参考になった」といった声が多く寄せられ、女性技術者、研究者同士のつながりの重要性や、経験共有の意義を改めて実感する機会となりました。

男女共同参画委員会では、第91年会2日目の2026年3月18日にハイブリッド形式（会場／オンライン）にてダイバーシティフォーラムの開催を予定しています。メルマガ等により開催内容をお知らせいたしますので、ぜひご参加願います。

（産業技術総合研究所 吉宗美紀，
東京大学 中村乃理子）

☆国際女性技術者ネットワーク開催報告☆ （開催日 2025年12月15日）

化学工学会男女共同参画委員会では、初めての試みとして、欧州化学工学系グループと合同で“Empowering Women Chemical Engineers : 2nd International Workshop on Membranes and Nanomaterials - Innovations and Beyond -”と題する国際ワークショップを企画し、12月15日(月)にオンラインで開催しました。スペイン、ポルトガル、トルコ、日本などから、40名を超える参加がありました。

今回は、膜分離工学やナノマテリアルに関係する分野で活躍する女性研究者による9件の口頭発表と、若手研究者や学生による12件のビデオ発表に加えて、化学工学分野での男女比に関する調査報告も行われました。出産や育児、家族のケアと仕事の両立は、ライフステージや性別を問わず多くの人に共通する世界的な課題です。制度面に加え、職場文化や意識のあり方についても、活発な意見交換が行われました。

（山口大学 熊切 泉）